

人文評論研究会ワークショップ

翻訳を通じて台湾に回帰した西川満の文学

王 恵 珍(おう・けいちん)
(台湾国立清華大学副教授)



(日時) 2017年2月25日(土) 16:30-18:00 (進行は日本語)

(場所) 武蔵大学教授研究棟 2階・02E会議室

(問合せ) 武蔵大学人文学部・渡辺直紀研究室 wata2002@hotmail.com



王恵珍(おう・けいちん/台湾国立清華大学副教授)——専攻は、日本統治時期台湾文学。主要業績に『戦鼓聲中の殖民地書寫:作家龍瑛宗の文學軌跡』(台北:台大出版社、2014)、『1960年代台湾文学の日本語翻訳活動について—『今日の中国』の文学翻訳と文化政治』《アジア遊学》204号(北波道子譯, 東京:勉誠出版, 2016)、『析論八〇年代葉石濤在東亞區域中的翻譯活動』『台灣文學學報』第27号(2015)、『三〇年代日本雜誌媒體與殖民地作家的關係:以臺灣/普羅作家楊逵為例』『東亞學人報』第32期(韓國:東亞人文學會、2015)など。

[主催]人文評論研究会・科学研究費助成事業(基盤研究(C))「日本語創作を通して見た東アジア3国文学の関連様相」(課題番号 16K02605 代表者:波田野節子)